

あきつ

2019年7月15日発行

第 622 号

発行 / 社会福祉法人 天童会 飯野順子



「オハナ農園」さんのこと

就労継続支援B型事業所「オハナ」さんの紹介をします。

昨年度より、中庭の花壇のお世話をお願いしています。また、園生が職員やご家族と一緒に楽しんで外気浴ができるように、園生にとって見えやすく、手を伸ばせば届くように、花台も5つ作っていただきました。季節に合わせて、定期的に花を入れ替えていただいています。植えてある花々は、オハナの皆さんが選んで、種から育てているので、多いように感じます。



春のコンサートの事業所の皆さんに、販売していただき、大盛況でした。

今年度からは、中庭と正面玄関前「ソトランス」の花壇の手入れもお願いするようになりました。

毎月、1〜2回来園し作業をしてくださっています。見かけたら、皆さんも声を掛けてあげてください。これからも、良い声が続くと良いですね。

(高橋英)



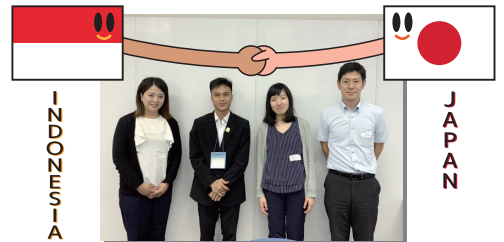
NPO法人 OHANA 国分寺市

障がいがある人が、「つくること」「売ること」「サービスを提供すること」など働くことを体得することで、報酬を得、社会に役立っていることの達成感を得ることを目的として活動しています。それを実現するために、私たちは自主製品事業(農園・工房)と受託事業(緑化推進・清掃)を核として、事業を営んでいます。

日経経済連携協定(日経EPA)事業報告 名古屋発 2019 介護福祉士候補者開校式

2019年の開校式が名古屋で行われました。今年度、秋津の一員となるのは、ムギ・アディ・セティアさんです。

ご本人にお会いして、新たな刺激になってくれそう!と直感しました。楽しみです。(橋本)



「ペリー幼児教育から学ぶ 質の高い幼児教育の実現に向けて」

施設視察研修

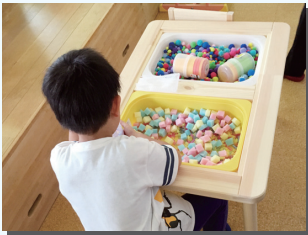
(弘前大学・愛生会病院)

今回の研修ではまず家庭で身に付けたい資質、能力は? 幼児教育で身に付けたい資質、能力は?と質問から始まりました。

学びの感覚の捉え方など、実践を通し文字などから教えていくのではなく、アクティブラーニングの要素を取り入れ、素材・材料に触れて行きながら文字だけでなく、与えられた課題に対し、多角的に捉えていく感覚を学びました。

子どもの発達についての理解を土台に、目の前の子どもの発達は今ほどのレベルなのか、この子の発達を考えるとどのような支援で次の段階に進んでいけるのか等、子どもを多角的に評価しながら現場で実践するスキルが支援者には求められます。

ハイスクールの学びの輪をもっと掘り下げていけるよう柔軟な発想や、ご指導を頂きながら、児童発達支援・幼児教育へつなげていけるよう深めていきたいと思えます。(齋藤美)



Music Sharing

ミュージック・シェアリング

NPO法人ミュージックシェアリングより、世界で活躍されている「五嶋みどり」さんをはじめとする、4名の演奏家の方にご来園いただき、吹奏器のカルテットを楽しませていただきました。各棟にも音色を分けていただき、素敵な1日となりました。



東京ベルディ



東京ヴェルディ対FC琉球のサッカー観戦に味の素スタジアムに行きました。

園生は選手達の激しい戦いを興奮して見ていました。もつと楽しかったのは、両チームのサポーターの応援です。

楽器や太鼓のリズムに合わせて体を動かしてリズムを一緒にしていました。FC沖縄の指笛や三線での応援は独特でとても良かったです。

(松波和)

社会福祉法人
天童会



重症心身障害児(者)施設
秋津療育園
秋津療育園
秋津療育園
東村山市認可保育園

秋津療育園
通園センター
相談支援センター
こひつじ園

〒189-0002 東村山市青葉町 3-31-1
〒189-0002 東村山市青葉町 3-31-1
〒189-0002 東村山市青葉町 3-31-1
〒189-0002 東村山市青葉町 3-9-33

Tel.042-391-1377 Fax.042-392-5422
Tel.042-306-1336 Fax.042-306-0138
Tel.042-391-1345 Fax.042-391-1358
Tel.042-394-9628 Fax.042-394-9628

特集
はたらくひと
働く人
その1
縫製室
ほうせいしつ
で働く職員さん

今号より働く職員さんにスポットをあてた「特集・働く人」を連載いたします。第1回は縫製室を訪ねました。



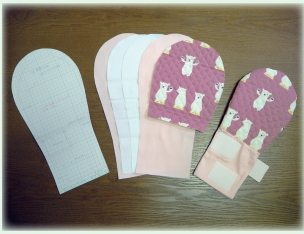
正職員・嘱託職員・非常勤職員を含めた5名が在籍しています。園生さんの「衣」に関する部分は園で賄っています。175名の園生さんの「衣」はどーしているの？を職員さんに聞いてみました。

仕事内容を教えてください

園生さんの衣類の製作と補修など、衣類全般の管理をしています。園生さんの身に着けるものは全てこちらから配布しています。また、洗濯が終わった、衣類やタオル類などをたたむのも仕事です。

どんなものを製作していますか？

普段着やつなぎ服、シャツ・手袋やエプロンなどです。衣類以外にもクッションやベッド柵の保護カバーなど、「布」で出来るものはなんでも製作しています。食用用のエプロンは、毎月200〜300枚作っています。



女性の園生さんのミトンの型紙と使用する生地。始終手を振る方なので、ミトンが取れないように手首はマジックテープを2か所で留めています。また乾燥機で縮んでしまうため、少し大きめのサイズで製作。2度の洗濯の後に納品しています。



主力の工業用ミシン3台と、ロックミシン2台がフル稼働している。一般家庭用をたが、耐久性に難があり、使用にはむきませんでした。以前はご寄付頂いたこともあったが、現在はミシン館で購入、メンテナンスをしています。

工夫している点や気を付けている点は？

初めての物を作る場合は、病棟の担当職員さんと一緒に考えながら試作品を作ります。それぞれの園生さんの体の特徴やサイズに合わせて型紙を製作し、使用する生地の選択など、いろいろ試します。



入念な打ち合わせと採寸



型紙製作と裁断

要望にそって耐久性、肌触り、糸の結び目が肌に触らないか？など違和感がないように気をつけています。園生さんが噛んでしまう部分だけに帆布を使用したり、肌の弱い部分は柔らかい生地を使用します。

口に入れてしまった場合や、けがなどの事故を防ぐため、金具類、糸で留めるタイプのボタンは使用しません。また、針を使う仕事なので、最終チェックは欠かせません。

洗濯をたたお際は破れやぼつれはないか？などをチェックしながら、次回製作時の再検討をします。



(上)お腹をポンポンするのが大好きな園生さん用のケア寝巻。お腹の部分に小さなクッションが入れられるポッケを付けています。(左上・左)ベッド柵の衝撃保護カバー。袋状の柵の中に水道管の保温材を入れています。洗濯も可能です。



(上)取れてしまわないようプラスナップを使用します。(左上)よだれが多い人用のエプロン。中に数枚のタオルが納めています。ユニークな形状です。(左)つなぎ服のファスナー肌にこすれないように、持ち手部分カバーをつけています。



やりがいをを感じる時は？

園生さんが身に付けているのを目にした時です。気に入ってもらえたらハイパーです。

以前と変化してきましたか？

園生さんの身体の拘縮が進んできているように感じます。そのため衣類の工夫も多様になってきました。

大変なことはありますか？

大変だとはあまり感じていません。硬い布や、厚手の物を縫うときなど、力の面で大変なことはあります。

仕事は楽しいですか？

あーしたほうが良いかな？こーしたらどうなるだろうな？と考えながら仕事するのは、楽しいです。

一言お願いします

病棟職員さんとの連絡を密にして、園生さんが快適に着られる様、力になれたらいいなと思います。

今後は？

他の施設さんやご家族と情報交換しながら、ノウハウを広めたいと考えています。



最近支援学校の文化祭に展示をした。見学の方々に製作事情を案内したりと、交流の場を広めています。評判も良かったです。

小平特別支援学校文化祭にて 今回の企画いかがでしたか？秋津にはたくさんの方の専門職の方が働いています。次回の「働く人」もご期待ください。(池田 雄)

お願いがございました。

縫製室ではタオルで様々なものを製作しています。押入れの中に眠っているタオルを是非ご寄付ください。よろしくお願いたします。

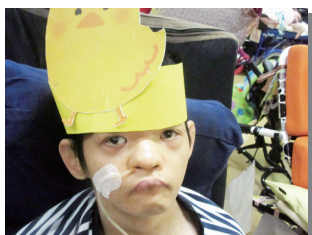


連絡先 秋津療育園 業務課
電話0422・3911・1377
housei@tendoukai.net

1棟 のみんな

おたのしみ会 外出支援

6月のお楽しみ会での出し物は「おおきなかぶ」。「おおきなかぶのうた」に合わせて園生みんながかぶを引っ張りました。かぶが抜けた時は、みんな一緒に喜びました。(樋口)



4棟 のみんな

お花見 運動会

4月は全生園へお花見へ。春の風を感じ気持ちよさそうでした。
5月は母の日。花紙で作ったカーネーションを大きな紙に貼ってみんなで飾り付けをしました。
6月は運動会。この日のために、練習を毎日を行い、それぞれ持てる力を発揮しました。(石田)



3棟 のみんな

運動会 鉄道博物館

運動会当日は、朝から活気があふれていました。大きな声で応援する園生、一生懸命種目に参加している園生の姿に胸が熱くなりました。(山尾)



2棟 のみんな

おたのしみ会 還暦祝い

6月、職員による演奏会を行いました。園生もトーンチャイムを手に持ち、曲に合わせて音を出したり、職員やご家族と一緒にピアノを弾く等、とても良いおたのしみ会でした。(富澤)



秋津療育園では、新たに3名の方が還暦を迎えられました。

祝
古希・還暦
おめでとう
ございます

(3棟)Yさんは車椅子の自操がとても上手で、いつも一生懸命車椅子を動かしています。

声を掛けるごピースサインをしてくれます。
日々頑張っている事は、ラジオ体操です。背中を伸ばす運動の時に職員と「えい・えい・やー」の掛け声を一緒にやっています。

Yさんの傍に近づくと頭や背中を優しく撫でてくれます。皆さんも3棟にお越しの時は、是非Yさんの傍に来てスキンシップやお話してみてください。

素敵な笑顔を見せてくれますよ。(田嶋)



リハビリテーション室 リハビリ

リハビリテーション室では、「広いリハビリ室で思いっきり体を動かしてほしい」という気持ちを込めて「ローリング活動」と称した運動の活動を行なっています。

マットの配置を変えてリハビリ室内にサーキットコースを作り、障害物を乗り越えたり、避けたりしながらゴール地点を目指して各々の方法で移動します。途中で膝立ちをする中継地点を通り、ゴール後には頑張ったご褒美にハンモック・タイムを設けたり、楽しみながら運動できるように工夫します。始めあまり動きがなかった方仲間の居認しながら移動



動できるようになります。最初はたがらな場所を一番を目指されています。一番、二番を決める競争のつもりはありませんが、仲間を意識することで体を動かす意欲が自然と芽生えてくるようです。

楽しく体を動かすことが一番の目的ですが、実は一人ひとりの運動機能を引き出せるように色々な仕掛けをサーキット内に散りばめています。

楽しく運動している様子を覗きにてください。(山本)

通園センター DAY NEWS

いちご狩り

所沢にあるイチゴ農園に行きました。持ちやすいホースリングやオーボールに紐を付け紐の先をイチゴのへたに結んで引っ張りイチゴを摘みました。

Wさんはたくさんイチゴの中から大きいものを選び美味しと食べていました。



運動会

今年度の運動会は大会議室で行いました。初めての場所に緊張した様子も見られましたが、広いスペースに力いっぱい競技に熱中していました。

交流会

多摩地区施設交流会に通園センターからは3名の利用者さんが参加しました。他施設の方と計8グループに分かれて自己紹介をし、交流を深めてからゲームに入ります。

今年はイラストビンゴを行い、通園センターのチームは惜しくも優勝をのがしてしまいました。その後、全員で「いいね!」マークを付けたマラカスを持って踊ったりと短い時間の中盛り上がった一日でした。

そして、一昨年通園利用者全員で描き上げたイラストが「デザイン賞」に輝き、ステッカーを作りました。

新たな思い出ができた交流会となりました。(松崎 智)



永年表彰



日本重症心身障害福祉協会が主催する、永年勤続者表彰式が水戸市で開催され、出席させていただきました。10年という年月を過ごされたのも、皆様のご指導のお陰と実感しております。今後自己研鑽を積み、看護・療育に貢献できるよう努力いたします。(金野)

6月22日は運動会。子どもたちの今できることをご家族に見て頂きます。練習もたくさんしました。ジャンプしたりお友達にバトンを渡したり、家では見られない姿もたくさんありました。でも当日は、緊張して泣き出してしまってお子さんもいました。それでもみんな一生懸命がんばりました。これからもいろいろな体験をして成長してほしいと思います。



*現在と表現方法が異なる部分がありますが、原文のまま掲載しました

(昭和57年8月1日発行「あきつ196号」より)

「草野理事長先生はいつも私どもの子供たちの事を中心に、考えていて下さり、又親の立場を常に理解して下さる事は、親として本当にうれしく感謝しております。これは私どもだけでなく父母一同皆同じだと思います。

ただ心配と申しますれば、子供より、親が先に天国に行くのが順序ではありますが、秋津の子供たちに限り、なんとか子供を見届けるまで、がんばりたいと思います。」

とお答え致しました。

お別れの時、両殿下より「これからも元気で、がんばって下さい。」と、なぐさめと、励ましの御言葉をいただきました。

新しい時代を迎えた記念に、皇太子・皇太子妃両殿下が行啓された時の記事を掲載しました。

古く写真や文庫の中から、もう一度見ておきたい、読んでおきたいものを掲載します。



皇太子、同妃殿下をお迎えして

元 秋津療育園後援会長 宮岡祐二郎

職員食堂にて、お待ち致しました私たち一人ひとりに両殿下が御言葉をかけて下さいました。

「ご苦労様ですね。お子様は幾才ですか。」

「二十八才になります。入園して十七、八年になります。」

「お子様は如何ですか。お元気ですか。」

「はい、おかげ様で現在、元気です。」

「何かお困りの事とか、御心配の事でもありませんか。」

「草野理事長先生はいつも私どもの子供たちの事を中心に、考えていて下さり、又親の立場を常に理解して下さる事は、親として本当にうれしく感謝しております。これは私どもだけでなく父母一同皆同じだと思います。」

1寄付

山本鐵子様、篠原好次様、伊藤知子様、上妻ルミ様、平野淳子様、小久保薫子様、里見芳子様、和田真様、大木道子様、八百忠様、三光教会の皆様、朝霞准看護学校の皆様、日本基督教団目白教会日曜学校の皆様、ひかり幼稚園若草会の皆様、東京国際福祉専門学校の皆様、立正佼成会東村山教会の皆様、狭山准看護学校の皆様、榎本造園土木様皆様方の温かい御支援と御協力に、あらためて心より厚く御礼申し上げます。社会福祉法人 天童会

編集後記

季節は梅雨、雨の道でいつも通勤・通学を見守っているお地蔵様が居ます。かつては曙橋のたもとにおられたそうですが、区画整理などで現在の地に引っ越されたようです。立っている場所は変わっても、いつも変わらない優しい顔が、長い間の移り変わりを見ておられます。「あきつ」も622号を迎えました。お地蔵さまと同様、これからも長く、秋津の移り変わりを書いていきたいと思ひます。(池田 雄)

あきつ 第622号
E-mail : jimukyoku@tendoukai.net
HP : http://www.tendoukai.jp
発行人 / 飯野 順子
発行 / 年4回 1・4・7・10月発行

